

大阪市立大学
理学部附属
植物園
(交野市)

みゅ〜
ザ・見遊じあむ

54

「生きた化石」、メタセコイアの樹林



さるの全国でもこの植物園だけとされています。外国産の樹木も多く植えられており、中でも「生きた化石」と言われるメタセコイアが有名です。一時は絶滅したと考えられていましたが、戦後、アメリカの調査隊が中国で種子の採集に成功。種子から育った苗が、この植物園にも寄贈さ



春には桜の名所になります

日本と世界の
貴重な樹木が一堂に

敷地面積は25・5ヘクタールで甲子園球場の約6倍。日本各地の樹林を自然に近い形で造成しています。北海道から本州、四国、九州に至るまで各地に生息する約450種の樹木が11種の樹林にわたって広がります。日本の北から南までの樹林を一堂に観賞できる有志が、「きさいち植物園ファンクラブ」を設立し、植物園の運営を側面から支えています。

ミュージアムメモ

▶所在地/交野市私市2000 ▶交通/京阪交野線「私市駅」下車徒歩6分 ▶駐車場/あり(有料) ▶開館時間/9時30分~16時30分(入園は16時まで) ▶休館日/毎週月曜日(ただし休日の場合は開館)・年末年始(12月28日~1月4日) ▶入館料/大人350円、団体(30人以上の場合)大人280円(団体は事前の申請が必要) 中学生以下、身体障がい者は無料 ▶連絡先/072-891-2059

「ゴールデンランバー」



首相暗殺犯にされた男の
2日間の逃亡劇

読者のみなさんは、アメリカの35代大統領ジョン・F・ケネディの暗殺事件をご存知でしょうか。1963年11月22日、ケネディ大統領はテキサス州ダラスで暗殺されました。オープンカーに乗っていた大統領の暗殺のようすがリアルタイムでテレビに報道されるというショッキングな事件でした。この暗殺犯がオズワルドという人物。この事件を念頭に置いていると、この映画はわかりやすく、おもしろさも倍増します。

わたつての逃亡劇です。東北の仙台市では金田首相の凱旋パレードが盛大に行われていました。それと時を同じくして、青柳雅春は、数年ぶりに旧友の森田とクルマの中で再会していました。森田の様子がおかしいことを感じた青柳に、森田は「お前はオズワルドにされるぞ。逃げろんだ」と恐るべきことを告げます。主人公の青柳は森田と会う数ヶ月前まで宅配便の配達ドライバーをしていました。現在はやめています。実は、青柳は数年前に、当時のトップアイドルのタレントを暴漢から助け出したことがあり、一躍マスコミの話題の人にもなった経歴がありました。首相暗殺の濡れ衣を着せられた男が、無実を晴らすために逃亡する羽目に。はたして逃亡は成功するのでしょうか…。

原作は伊坂幸太郎のベストセラー。タイトルの「ゴールデンランバー」はビートルズのナンバーから。

このシネマ ガラエイジ

大阪の戦跡を歩く

第53歩

被爆者鎮魂の碑
(大阪市西淀川区)



1945年6月26日白昼、西淀川区を流れる左門殿川沿いの防空壕を米軍の2トン爆弾が直撃。避難していた53人が死亡しました。「防空壕は跡形もなく、すり鉢状に掘り返したような大穴になっていた。その周辺に無数に散らばっている誰のものともわからぬ衣服の切れ端、飛び

散った腕、指、足…」爆撃で母、姉、叔父を亡くした望月貞子さん(当時12歳)が手記でその時の惨状を伝えています。米軍が狙ったのは道路向かいの軍需工場。53人はその巻き添えで犠牲になったのです。戦後、住民の寄付で跡地に鎮魂碑と地藏が祀られました。

撰津 おおさか 河内 和泉 三國誌

54

(阪南市)

日本最後の仇討ち
勝海舟と坂本龍馬が
助太刀を手配

仇討ちと言えば、「父の仇、覚悟せい！」という時代劇のセリフを思い浮かべる人もいるでしょう。今では仇討ちは法律で禁止されていますが、江戸時代には、両親や兄など尊属の親族が殺害された場合、武士に限って幕府が許可をしていました。江戸時代を通じて100件をこえる仇討ちが公認されたといわれていますが、最後の公認仇討ちの現場になったのが、現在の阪南市山中溪です。

安政4年(1857年)、土佐藩士の廣井大六が口論の末、同藩士の棚橋三郎に斬り殺されました。棚橋は藩を追放されますが、廣井の一人息子、磐之助が父の仇を討とうと決意します。幕府から「仇討ち免許状」が交付されましたが、これは、磐之助に共感した幕臣・勝海舟の取り計らいによるものでした。

石碑の頭上には阪和自動車道が通ります



い磐之助は、棚橋が紀州藩(和歌山県)領内に潜んでいることをつきとめます。奉行所から「棚橋三郎を境橋より国払いするので、和泉側(大阪府)で討つべし」との許可を得ました。この時、たまたま公務で紀州藩を訪問していた勝海舟と門弟の坂本龍馬が、磐之助がいよいよ仇討ちに挑もうとしていることを知り、三人の助太刀を手配。磐之助は境橋で棚橋を待ち受け、無事に父の仇を討って本懐をとげました。現在、大阪府と和歌山県の境にかかる境橋のたもとには「日本最後の仇討ち場」と記した石碑が建ち、当時の事件を伝えています。

春の海
終日のたりたり哉

与謝 蕪村

春の海の、のどかさをうたっています。「終日」は「ひねもす」と読み、「一日中」という意味をあらわします。与謝蕪村(1716~1783)は江戸中期の俳人。撰津国の毛馬村に生まれ、20歳の頃に江戸に出て俳諧を学びました。その後、東北・関東を巡歴して、40歳以後は画家として名を高めました。

いまも心に響く
名詩・名歌・名語録

この議事堂に、ふさはしき議員を得るは、いつの代ならむ

尾崎 行雄

日本の議会政治の黎明期から戦後まで衆議院議員を務め「憲政の神様」といわれた尾崎行雄は、「美事なる、此議事堂にふさはしき議員を得るは何時の代ならむ」と歌いました。最近、河野洋平前衆議院議長が、国会審議中のひどいヤジをとりあげ、この歌を引用して政治の現状に苦言を呈しました。「この品位のなさでは、政治の信頼を回復できない」と。